

繋がりをもち続ける気仙沼の方々に 励ましの手紙とギフトを贈りました



気仙沼: 公営住宅の皆さんへ

- ・カイロ 90 ケ ・マスク2箱
- ・除菌ウエットティッシュ3パック
- ・靴下 12 足 ・手袋4つ 腹巻2つ
- ・ドライシャンプー 3ケ
- ・手指消毒ボトル2ケ ・食料品 10 食



1月は能登半島方面にも
励ましの手紙と物品を贈る
予定です!



五十番タクシーから気仙沼の皆さんへ

- ・カイロ 60 ケ ・マスク2箱
- ・ベビーミルク 2 ケ ・ハンドクリーム4ケ
- ・メイバランス 1 箱 ・手指消毒ボトル2ケ

お礼の手紙をいただきました(気仙沼鹿折南住宅より)



拝啓、歳晩の候 寒さもひとしお身に染みる今日この頃、平安女学院中学校・高等学校 UNESCO 部(元東日本大震災被災地応援実行委員会)の皆さまにおかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。さてこの度は、被災地に寄り添い支援のギフトの詰め合わせの激励品と真心をこめた激励文を送っていただき心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

皆さまからいただきました激励のギフトの品々は令和八年一月十一日に開催します鹿折南住宅の新年会でお福分けさせていただきます。鹿折南住宅に入居後、皆さまから支援を受けた感謝の気持ちを忘れずに、能登半島地震の被災地のみなさんへ、微力ではございますが日本赤十字社に募金を寄付して支援活動ができるようになりました。これも偏に皆さまからの支援活動と激励の賜物と只々報恩感謝の気持ちでいっぱいでございます。結びに平安女学院中学校・高等学校の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、お礼の言葉に代えさせていただきます。

令和七年十二月二十二日

鹿折南住宅自治会 会長 西條 三雄



明けましておめでとうございます。



1月の「冬の寒さ」から防災を考える



1月是一年の中でも寒さが最も厳しく、雪の影響が大きくなる季節です。地震や豪雪、停電などが重なりやすく、冬特有の「複合災害」が発生しやすい時期でもあります。過去の事例を振り返ると、厳しい気象条件が被害を拡大させたケースが少なくありません。



直近の大きな災害の一つが、2024年1月1日の能登半島地震です。最大震度7を記録し、建物倒壊や道路陥没、火災などが同時多発的に発生しました。さらに真冬の寒さの中で停電・断水が重なり、避難生活は非常に厳しい状況となりました。道路寸断による孤立も発生し、物資輸送や救助活動は長期間にわたり難航しました。

また、1月には豪雪による被害も発生します。2023年1月20日からの大雪では、北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、京都府および岡山県など広範囲で交通障害が相次ぎました。京都市内でも交通機関の乱れや除雪作業の負担が大きく、生活に影響を及ぼしました。夕方に大雪のため、帰宅途中の大人も学生も駅で立ち往生することもありました。



2022年、2023年とも京都市内は大雪に見舞われ、遠方から通ってこられている生徒も、教職員もご苦労されていました。

全国では死者8名、負傷者112名が報告され、雪下ろし中の転落や落雪、除雪作業に関連する事故が多発しました。

こうしたことから、冬の豪雪では積雪そのものだけでなく、除雪や屋根の雪下ろしなどの作業中の事故にも十分な注意が必要であることがわかります。



昨年2月にもお世話になった、岩手県の陸前高田市の出張授業「震災からの復興まちづくり」を、来月2月に、中学2年生の授業でお願いすることになりました。復興まちづくりについて、関心のある人、聞いて見たいことがある人は、ぜひ質問事項を、総合科 佐藤先生または濱田までお寄せ下さい。



陸前高田市（岩手県）の「奇跡の一本松」